
フラアサ[学パロ]寮生活だよ！！

音羽

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

フラアサ「学パロ」寮生活だよ！！

【Nコード】

N2821Z

【作者名】

音羽

【あらすじ】

フラアサがひたすらいちやこらしているだけです。

学パロで書いたつもりですが、あまりその要素はありません。

早朝から掛けられた目覚まし時計、早朝から掛けた理由にデレるアーサーとらぶらぶしたいフランスのお話。

(前書き)

いつもイラストばかり描いているので、まともに小説を書いたのが初めてです。拙い文ですが、喜んで下されば幸いです。

仏英がいちゃこらしてます。学パロとか言っておきながら全然そんな要素出てきていませんorz期待して開いて下さった方、申し訳ありません。

デレ英が書きたかった……!!!

腐ってますのでご注意下さい。

人名表記です。

ジリリリリリリ ジリリリリリリ . . .

早朝から部屋中に鳴り響く目覚まし時計を睨み付け、むくりと起き上がる。

なぜこの騒音で目を覚まさないのだろうと疑問に思いつつ隣のベツトに近づぐ。

「おい、起きろ クソ髭。」

お前が目覚ましをこんな朝早くから掛けたんだろう、とベツトの中でまだ眠っているソイツを、げしつと踏みつける。

「アラームの音が聞こえないとか、お前の耳腐っているんじゃないのか!？」

まったく、人の睡眠を邪魔しやがって。

怒鳴ってみても反応は無く、まったく起きる気配の無いソイツの様子を伺おうと顔を近づけると

ぐい、と体を引き寄せられた。

「え」

ばふん、とベツトに倒れこむ。

「おはよう、坊ちゃん。」

ちゅっ と頬に口付けられ、後ろから抱きしめられる。

「ーっ!! てつめえ起きてたのかよ!! / / / /」

いきなりの不意打ちに思わず赤面してしまう。

「だってえ〜こうやって寝た振りしてると、アーサー起こしに近づいてくれるじゃない？」

ほら、こうして抱きしめられるしねー。」

ふふ、アーサーあつたかーい などとほざく。

「てめえ・・・人の親切を利用しやがって・・・! 離せつての!」

「えーもう少しくうしていようよー。」

「ーっ大体ツ、なんでこんな朝早くから目覚ましを掛けているんだよ!」

「昨日、お弁当作れなかったから作るうと思って・・・あと朝ごはんの支度のためにねー。」

「・・・じゃあとつと俺を離して起きろよ・・・。」

このままずっとくっついていたら目覚ましを掛けた意味が無いじゃないか・・・

はあ・・・ とため息が出る。

なによりこの状況はものすごく恥ずかしい。

しかも、料理の支度をしないのに俺がこんな朝早くから起こされたというのは

かなりの損ではないか。まだ眠いというのに。

「大丈夫。坊ちゃんとこうやっていちゃつく時間も計算して、目覚ましを掛けておいたから」

コイツは本気で馬鹿なのではないだろうか。
何を考えているんだ!!!

「おまえなっ・・・!!! / / / / /」

「ふふっ アーサー照れてる」

指摘されて益々顔が熱くなってくるのを感じる。

「うるせえ・・・ / /」

こんな時間が嫌だと思わないのは、大分コイツに毒されている・
という事なのだろうか。

後ろから肩に頭を置かれ、すん と匂いを嗅がれた。

思わずひゃっという声が漏れてしまっ。

「ほんと・・・アーサーかわいい・・・食べてしまいたくなる・・・
・ 離したくない。」

ぎゅっとならに強く抱きしめられる。

嬉しくなって「俺も・・・離したくない・・・」と腕を握ってみた。

「!?!? あ・・・え・・・アーサーがデレてくれた!?!?!?」

「なんだよ!?!? デレるって!?!?」

「え・・・? ああいやごめん・・・。なんか嬉しくて・・・。

ねえ・・・アーサー、」

「なんだ?」

「食べてもいい?」

いつもならふざけるんじゃないやねえと蹴り飛ばしているところだが、
今はつい「よくなかったら、とっくに蹴り飛ばしてる・・・それ位

察しろよ、ばか。」
と云ってしまった。

「…っ それじゃあ、遠慮なく。」

きつとこんな珍しいことをしてしまったのは、眠気のせいだ。
別に絆されたからというわけではない、嬉しかったわけでもない。
だから！！眠気のせいだ。眠気のせいだったの！！！！／／／／
／／／／／
忘れよう。

そのあと結局お弁当を作る時間はなくなったというのはいうまでも無い。

おわり

(後書き)

ここまで読んで下さりありがとうございます！！！！！今度描くときは絶対学園モノにしたいと思っております。これからも小説を練習していきたいです。それでは！！！！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2821z/>

フラアサ[学パロ]寮生活だよ！！

2011年12月9日23時54分発行